

災 害 救 護 速 報

平成 26 年 10 月 5 日 (日) 11:00 現在
事業局 救護・福祉部 救護課
(Tel. 03-3437-7084)

御嶽山噴火災害に係る日本赤十字社の対応について (6)

平成 26 年 9 月 27 日御嶽山噴火により発生した被害に対する日本赤十字社の対応は、以下のとおりです。

1 概要

(1) 被害の状況 (消防庁：10 月 5 日 11:00 現在)

都道府県名	人的被害 (名)				住家被害 (棟)				
	死者	行方不明	重傷者 (中等症 者含む)	軽症者	全壊	半壊	一部 損壊	床上 浸水	床下 浸水
長野県	51	12※	27	32	確認中				
岐阜県	0	0	2	8					
合 計	51	12	29	40					

※行方不明者数は、長野県御嶽山噴火災害対策本部において問い合わせの情報を基に集計したものであり、今後変動することがある。

(2) 災害救助法の適用

長野県木曽郡木曽町、木曽郡王滝村 (平成 26 年 9 月 27 日適用)

(3) 救護班等派遣状況 (9 月 27 日～30 日：計 13 班)

【第 3 ブロック】

長野県支部 [長野赤十字病院 2 班 (DMAT 1 班含む)、諏訪赤十字病院 2 班 (DMAT 1 班含む)、安曇野赤十字病院 1 班、下伊那赤十字病院 1 班、飯山赤十字病院 1 班]

※他に長野・諏訪の各病院の医師 1 名が、統括 DMAT として県災対本部で活動

岐阜県支部 [高山赤十字病院 (DMAT 1 班)]

愛知県支部 [名古屋第二赤十字病院 1 班]

【第 2 ブロック】

群馬県支部 [前橋赤十字病院 (DMAT 1 班)]

新潟県支部 [長岡赤十字病院 (DMAT 1 班)]

埼玉県支部 [さいたま赤十字病院 (DMAT 1 班)]

山梨県支部 [山梨赤十字病院 (DMAT 1 班)]

(4) 救援物資

搬送先	救援物資搬送数	
	毛布	安眠セット
王滝村公民館	80 枚	15 セット
木曽町三岳交流促進センター	50 枚	55 セット
御嶽ロープウェイ御岳口	50 枚	
木曽町 町組	60 枚	15 セット
木曽町 中部	60 枚	15 セット
木曽町 杭ノ原	60 枚	15 セット
木曽町 農業者トレーニングセンター	60 枚	25 セット
木曽町 旧上田小学校	50 枚	10 セット
木曽町 下条生活改善センター	30 枚	
木曽町 倉本集会所	10 枚	
木曽町 井原地区集会所	10 枚	
木曽町 屋敷野・白崩集会所	30 枚	
木曽町 中央部分館	30 枚	
計	580 枚	150 セット

(5) こころのケア活動状況（9月28日～10月3日：計3班）

9月28日（日）～9月30日（火） 諏訪赤十字病院こころのケアチーム1班

10月1日（水）～10月3日（金） 諏訪赤十字病院こころのケアチーム1班

10月3日（金）～10月5日（日） 安曇野赤十字病院こころのケアチーム1班

2 日本赤十字社の対応

10月5日 11時00分現在で、日本赤十字社各都道府県支部・施設における被害は確認されていません。

(1) 長野県支部

9月27日

13:58 支部へ職員8人参集。

15:10 長野県支部災害対策本部を設置。

16:57 長野県支部救護班（長野赤十字病院（日赤DMAT））1班が 信州大学医学部附属病院へ向けて出発。

17:10 長野県支部救護班（諏訪赤十字病院（日赤DMAT））1班が県立木曽病院へ向けて出発。

- 18 : 07 王滝村公民館へ毛布 80 枚、安眠セット 15 セットを搬送。
木曽町三岳交流促進センターへ毛布 300 枚、安眠セット 20 セットを搬送。
- 18 : 45 長野赤十字病院の医師 1 名が災害医療コーディネーターとして、また同
院医師 1 名及び看護師 2 名が同コーディネーターの補佐として、長野県
災害医療本部にて活動を開始。
- 18 : 52 御嶽ロープウェイ御岳口へ毛布 50 枚搬送。

9 月 28 日

- 12 : 55 県災害医療対策本部から長野県支部救護班（安曇野赤十字病院）へ派
遣依頼あり。
- 13 : 34 同班が県立木曽病院へ出発。
- 14 : 20 長野県支部こころのケアチーム（諏訪赤十字病院）が県立木曽病院へ
向け出発。
- 15 : 07 長野県支部救護班（安曇野赤十字病院）が県立木曽病院へ到着し、院
内の中等症患者の診療を開始。

9 月 29 日

- 08 : 50 長野県支部災害対策本部が長野赤十字病院の医師 1 名を日赤災害医療
コーディネーターとして県立木曽病院へ派遣することを決める。
- 10 : 00 長野県支部救護班（下伊那赤十字病院）1 班が県立木曽病院へ出発。
- 11 : 40 同県支部救護班（下伊那赤十字病院、飯山赤十字病院、長野赤十字病
院）合計 3 班が県立木曽病院へ到着。
- 14 : 40 県立木曽病院内の災害対策本部にて医療ミーティングが行われる。
（日赤の救護班 5 班は木曽町旧上田小学校にてこころのケア活動等
を行うことが決定。）
- 16 : 00 長野県支部現地災害対策本部を木曽町旧上田小学校に設置。
- 18 : 00 長野県支部現地災害対策本部にて救護班が下記の予定で活動すること
が決まる。

9 月 29 日 18 : 00～21 : 00 長野県支部救護班（諏訪赤十字病院）

21 : 00～24 : 00 長野県支部救護班（安曇野赤十字病院）

9 月 30 日 00 : 00～08 : 00 長野県支部救護班（長野赤十字病院）

08 : 00～11 : 00 長野県支部救護班（諏訪、安曇野、飯山、
下伊那赤十字病院）

11 : 00～14 : 00 長野県支部救護班（長野赤十字病院）

愛知県支部救護班（名古屋第二赤十字病
院）

14 : 00～17 : 00 長野県支部救護班（飯山、下伊那赤十字
病院）

9月30日

- 08:00 長野県支部現地災害対策本部ミーティングを行う。
- 10:15 長野県支部救護班（諏訪、安曇野赤十字病院）2班が撤収。
- 13:40 本社職員2名、日赤災害医療コーディネーター1名、長野県支部職員1名、愛知県支部救護班（名古屋第二赤十字病院）医師1名が木曾町役場災害対策本部会議に出席する。
- 14:40 同会議終了。（今後の日赤の活動内容は安否不明者の家族支援とし、木曾保健所の保健師1名と日赤救護班の合同チームで対応することが決まる。）
- 17:10 長野県支部現地災害対策本部を木曾合同庁舎1階へ移動。
- 18:15 長野県支部現地災害対策本部にてこころのケア活動を下記の予定にて行うことと決める。

杭の原公民館

10月1日 08:00 まで（下伊那赤十字病院看護師1名、主事1名）

農業者トレーニングセンター

10月1日 12:00 まで（下伊那赤十字病院看護師2名、主事1名）

中央公民館

10月1日 12:00 まで（長野赤十字病院看護師1名、主事1名）

木曾町役場

10月1日 12:00 まで（長野赤十字病院看護師1名、主事1名）

10月1日

- 11:25 長野県支部救護班（諏訪赤十字病院）が木曾合同庁舎に到着し、長野県支部救護班（長野赤十字病院）と引き継ぎを実施。
- 12:30 長野県支部救護班（長野赤十字病院）が引き継ぎを終了し、長野赤十字病院へ向け出発。
- 13:10 活動を終了した長野県支部救護班（下伊那赤十字病院）が、下伊那赤十字病院に帰着。
- 13:20 長野県から長野県支部災害対策本部あて、10/3（金）～10/6（月）のこころのケア活動について調整等の依頼。
- 14:00 長野県支部災害対策本部において、長野県から依頼のあった10/3（金）～10/6（月）のこころのケア活動の実施を決定。
 - 10月3日～5日 安曇野赤十字病院
 - 10月5日～6日 長野赤十字病院
- 17:00 長野県支部災害対策本部から長野県支部管内各赤十字病院へ、救護班・こころのケアチームの活動状況を報告。
- 19:35 活動を終了した長野県支部現地災害対策本部の調整員が長野県支部

に帰着。

10月2日

- 09:47 長野県支部災害対策本部から長野赤十字病院へ、10/5（日）からの
こころのケアチームの派遣を要請、同病院が了承。
- 11:15 日赤災害医療コーディネーターが長野県支部災害対策本部へ到着、
現地での詳細な活動状況を報告。
- 13:35 長野県支部災害対策本部から長野県に、日赤災害医療コーディネー
ターの活動を報告。
- 17:01 諏訪赤十字病院から長野県支部災害対策本部へ、こころのケア活動
の状況報告。
- 19:22 長野県支部災害対策本部から長野県へ、こころのケアチーム派遣予
定と活動実績を報告。

10月3日

- 08:30 長野県災害対策本部にて日赤のこころのケアの活動時間変更を決定
(17:00～02:00 → 9:00～17:00)。
- 14:40 長野県災害対策本部の要請にて、日赤のこころのケアの活動期間を
延長を決定（飯山赤十字病院の看護師3名、主事1名の派遣）。
- 17:10 長野県災害対策本部から家族の待機場所が1か所になった報告受け、
飯山赤十字病院の派遣人数を変更（看護師1名、主事1名）。
- 18:35 同支部現地災害対策本部職員から支部に家族の待機状況等の報告

10月4日

- 08:30 長野県支部現地災害対策本部ミーティングを行う。
- 08:45 同支部現地災害対策本部職員が、保健所長に同行し家族の待機場所
の現地確認。
- 13:27 同支部現地災害対策本部職員から支部に家族の待機場所の状況報告
- 17:10 同支部現地災害対策本部職員から支部に活動状況報告。
行方不明者の身元判明を受け、20:00 まで活動を延長決定。

10月5日

- 08:30 長野県支部災害対策本部から長野県支部へ、こころのケアチームの
派遣期間の延長を要請。
- 08:35 長野県支部から長野県災害対策本部へ、こころのケアチームの派遣
期間の延長を了承。10月7日正午まで長野赤十字病院の活動延長、
10月7日～9日 飯山赤十字病院、10月9日～11日 下伊那赤十
字病院の予定。
- 09:55 同支部現地災害対策本部職員から支部に家族の待機場所の状況報告

(2) 岐阜県支部

9月27日

15:00 支部職員が参集。

15:20 支部職員が岐阜県火山災害警戒本部と連絡調整。

20:10 岐阜県支部救護班（高山赤十字病院（日赤DMAT））1班が濁河温泉へ向け出発。

22:50 同救護班が到着。

9月28日

04:30 岐阜県支部救護班（高山赤十字病院（日赤DMAT））の医師1名、看護師1名が山岳警備隊、下呂市職員とともに岐阜県側登山口より小屋へ向かう。

06:15 同医師と看護師が「五の池小屋」へ到着し、登山客と合流後下山。

10:00 県警へりにて搬送された重傷者1名を高山赤十字病院が受け入れる。

12:10 防災へりにて搬送された重症患者2名を高山赤十字病院が受け入れる。

12:30 同班の診療活動が終了し、現地を撤収する。

16:00 同班が高山赤十字病院に帰着。

16:25 IFRC（国際赤十字赤新月社連盟）より本社へ、現地で活動した岐阜県支部救護班医師のコメントが欲しい旨の依頼があり、本社企画広報室を通じてインタビューを実施、IFRCのホームページに掲載（9月29日付）。

(3) 愛知県支部

9月29日

11:50 愛知県支部救護班（名古屋第二赤十字病院）1班及び愛知県支部連絡調整員2名が県立木曽病院へ向けて出発。

14:36 同班が同病院へ到着。

10月1日

16:30 活動を終了した愛知県支部救護班（名古屋第二赤十字病院）が名古屋第二赤十字病院に帰着。

(4) 第2ブロック内支部

9月27日

19:45 群馬県支部救護班（前橋赤十字病院（日赤DMAT））1班が信州大学医学部付属病院へ向けて出発。

9月28日

01：00 新潟県支部救護班（長岡赤十字病院（日赤DMA T））1班、埼玉県支部救護班（さいたま赤十字病院（日赤DMA T））1班が信州大学医学部付属病院へ出発。

04：00 山梨県支部救護班（山梨赤十字病院（日赤DMA T））1班が信州大学病院へ出発。

07：00 同班が信州大学病院へ到着後、県立木曽病院へ移動し救護活動を行う。

9月29日

09：00 山梨県支部救護班（山梨赤十字病院（日赤DMA T））が木曽病院にて待機。

13：00 同班撤収。

17：00 同班が山梨赤十字病院へ帰着。

（5）本社

9月28日

09：00 本社職員3名が参集し、情報収集を行う。

9月30日

06：45 本社職員2名が現状把握のため長野県木曽町へ向けて出発。

10：24 同職員が長野県支部現地災害対策本部のある旧上田小学校に到着。

13：40 同職員2名、日赤災害医療コーディネーター1名、長野県支部職員1名、愛知県支部救護班（名古屋第二赤十字病院）医師1名が木曽町役場災害対策本部会議に出席する。（再掲）

19：05 同職員が本社に帰着。